

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

北 栄輔^{1,2,a)}

本年度 1 回目の論文誌トランザクション「数理モデル化と応用 (TOM)」の発刊です。

TOM では、数理モデル化と問題解決研究会 (MPS) の研究会においてご講演いただき、研究会と同時開催の編集委員会で査読結果をお伝えするという方法をとっています。そのために、原稿のご投稿から、最初の査読結果をお伝えするまでが 2 カ月ほどとなることが特徴です。今年度も 5 回の MPS 研究会開催を予定しています。7 月 4 日から 5 日開催の MPS108 (沖縄科学技術大学院大学)、7 月末開催の MPS109 (ラスベガス、国際会議 PDPTA との共催)、9 月 16 日開催の MPS110 (奈良女子大学)、12 月開催の MPS111 (電気通信大学)、来年 3 月開催の MPS112 (岩手県方面を予定) です。すでに、MPS108 (沖縄科学技術大学院大学) と MPS109 (ラスベガス) は申し込みが終了していますが、その他の研究会については、これからです。ぜひ、多数のご参加をお待ちしています。

さて、今号では、2015 年 3 月開催の MPS108 (山口県湯田温泉) に投稿されて採録されたオリジナル論文と事例付き紹介論文を中心に計 6 編を掲載しています。担当編集委員は、榎原 博之、阿部 昇、古瀬 慶博、吉田 哲也、棟朝 雅晴 (敬称略) となっています。

TOM に掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように、様々な分野に関わる多くの編集委員を必要としています。これまで慢性的に編集委員が不足している状態です。TOM では編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方はぜひご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。なお、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらもご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべて WWW ページ

上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ (<http://www.ipsj.or.jp/sigmmps>) よりたどることができますので、MPS 研究会および論文誌 TOM に関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

¹ 情報処理学会論文誌トランザクション「数理モデル化と応用」編集委員長
名古屋大学
Nagoya University, Nagoya, Aichi 464-8601, Japan

² 神戸大学
Kobe University, Kobe, Hyogo 657-0013, Japan

a) kita@is.nagoya-u.ac.jp